

日時

平成26年9月21日(日) 7時30分～8時20分

会場

第3会場 大阪国際会議場 10F 会議室1003

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51 Tel:06-4803-5555

第25回日本緑内障学会
モーニングセミナー5

知って得する!

25th Japan Glaucoma Society morning seminar

新しい眼圧制御

座長

琉球大学病院 眼科 教授 澤口 昭一先生

座長のことは

緑内障は、適切に治療されないと視野狭窄から失明にいたる疾患であり、現時点で眼圧下降療法は有効性が確立された唯一の治療方法である。現在、様々な作用機序を有する緑内障点眼薬が臨床応用されているが、目標眼圧までにコントロールすることが困難な場合、複数の点眼薬を併用するケースも多い。薬剤併用の際、より効果的な眼圧下降を得るためには、房水制御機構を理解し、異なる作用機序の薬剤を適切に組み合わせることが重要である。

本セミナーでは、房水制御と眼圧コントロールに関する「知って得する!」情報を2人の先生からご紹介いただく。今後の日常診療に欠かすことの出来ないアップデートな講演になることを期待する。

演題1

緑内障の新しい治療戦略とターゲット

熊本大学大学院 生命科学研究部 眼科学分野 教授 谷原 秀信先生

演題2

緑内障とRhoキナーゼ

東京都健康長寿医療センター 眼科医長 本庄 恵先生

共催：第25回日本緑内障学会 /  興和創薬株式会社